

# 大学本務教員数および研究大学本務教員数の 調査結果、将来推計等について（精査中）

内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付



1. 大学本務教員( 1)

- Ⅰ 2013年、2016年における大学本務教員数調査結果 3頁
- Ⅰ 2019年以降における年齢構成推計の考え方 4頁
- Ⅰ 2019年、2025年における大学本務教員の推計結果 5頁
- Ⅰ 2025年までに40歳未満の大学本務教員を1割増( 2 )する目標(案)の試算 6頁

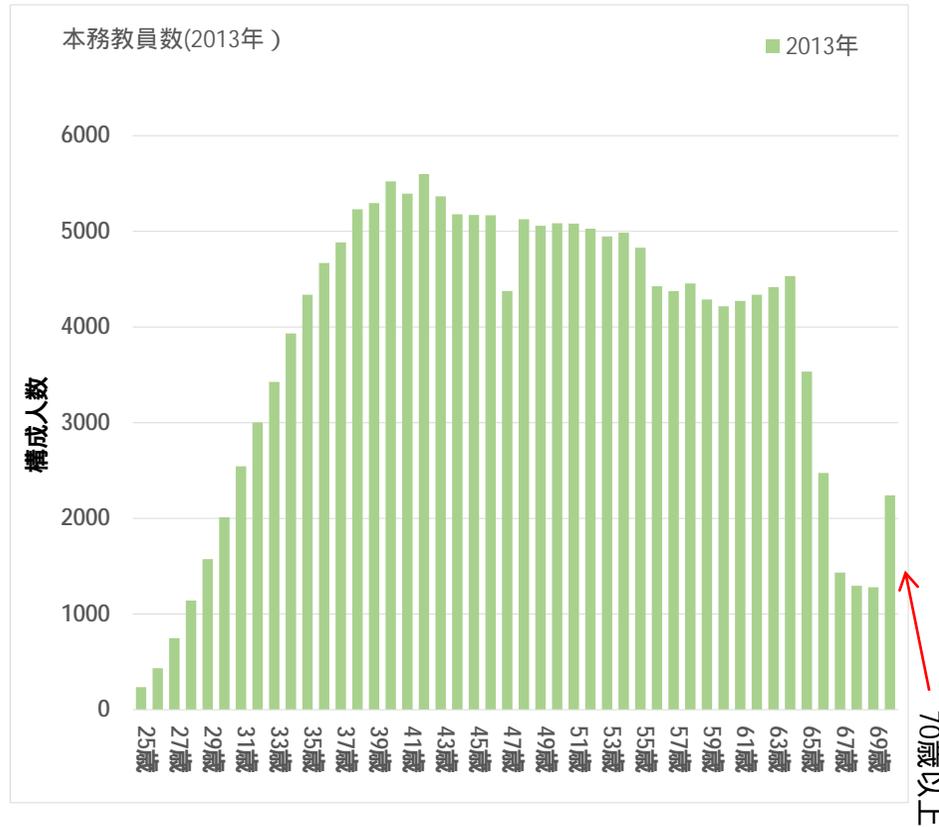
2. 研究大学(重点支援 国立大学)( 3)本務教員

- Ⅰ 2013年、2019年における研究大学雇用状況調査結果( 4) 9頁
- Ⅰ 2025年における研究大学本務教員の年齢構成推計の考え方 10頁
- Ⅰ 2025年における研究大学本務教員の推計結果 11頁
- Ⅰ 2025年までに研究大学における目標(案)を達成する場合の試算 12頁

(参考) 2013年、2019年における研究大学雇用状況調査結果(分野別) 13 16頁

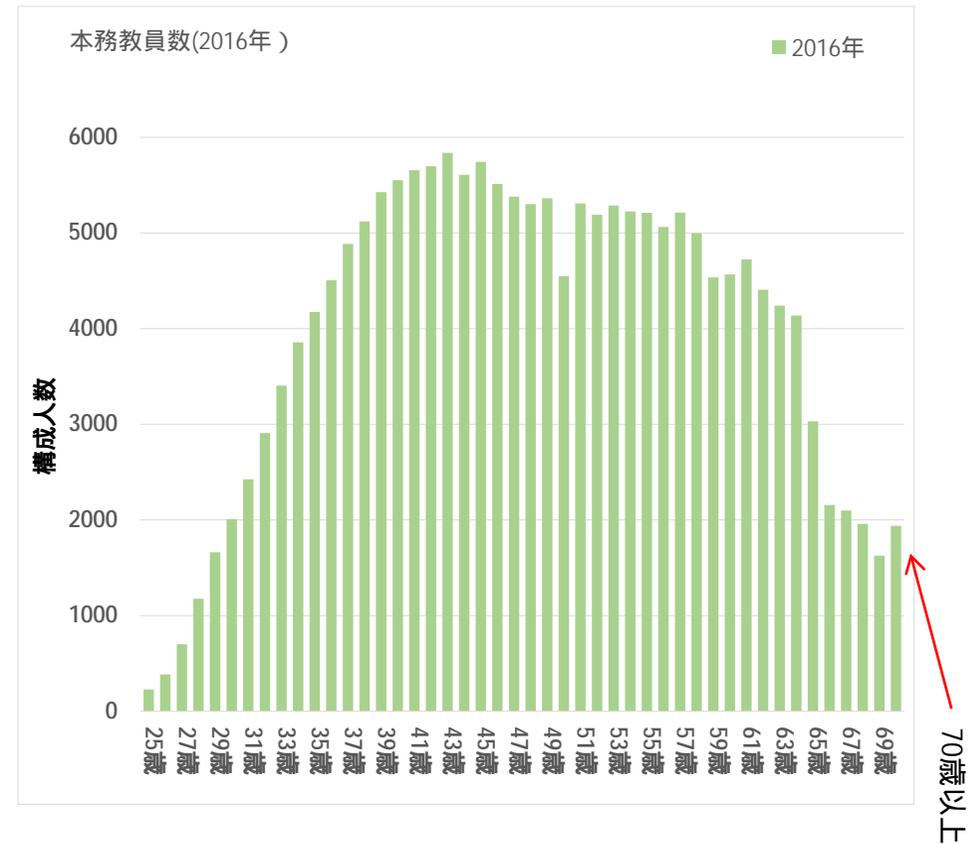
- ( 1)「学校教員統計調査」対象の大学本務教員(国公立の大学に籍を置く全ての本務教員(学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手)をいい、任期付きの本務教員も含む)
- ( 2)「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」における若手研究者のポスト拡大の達成目標数を踏まえ、5,500人増と仮定して試算
- ( 3)本資料において、国立大学法人運営費交付金の重点支援 にあたる大学(16大学)  
(北海道大学、東北大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、東京農工大学、東京工業大学、一橋大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、九州大学)
- ( 4)「研究大学における教員の雇用状況に関する調査」(文科省)の調査結果の重点支援 国立大学について内閣府において集計(文科省にて調査内容の精査中であり、本内容は速報(暫定)値)

2013年（調査結果）



39歳以下人数	43,763	39歳以下割合	24.7%
40歳～49歳	51,964	40歳～49歳	29.3%
50歳～59歳	47,501	50歳～59歳	26.8%
60歳以上	34,035	60歳以上	19.2%
合計	177,263		

2016年（調査結果）



39歳以下人数	43,153	39歳以下割合	23.4%
40歳～49歳	55,652	40歳～49歳	30.2%
50歳～59歳	50,581	50歳～59歳	27.4%
60歳以上	34,887	60歳以上	18.9%
合計	184,273		

「学校教員統計調査」（文科省）の調査結果を内閣府にて集計、作図

本務教員： 国公立の大学に籍を置く全ての本務教員（学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手）をいい、任期付きの本務教員も含む

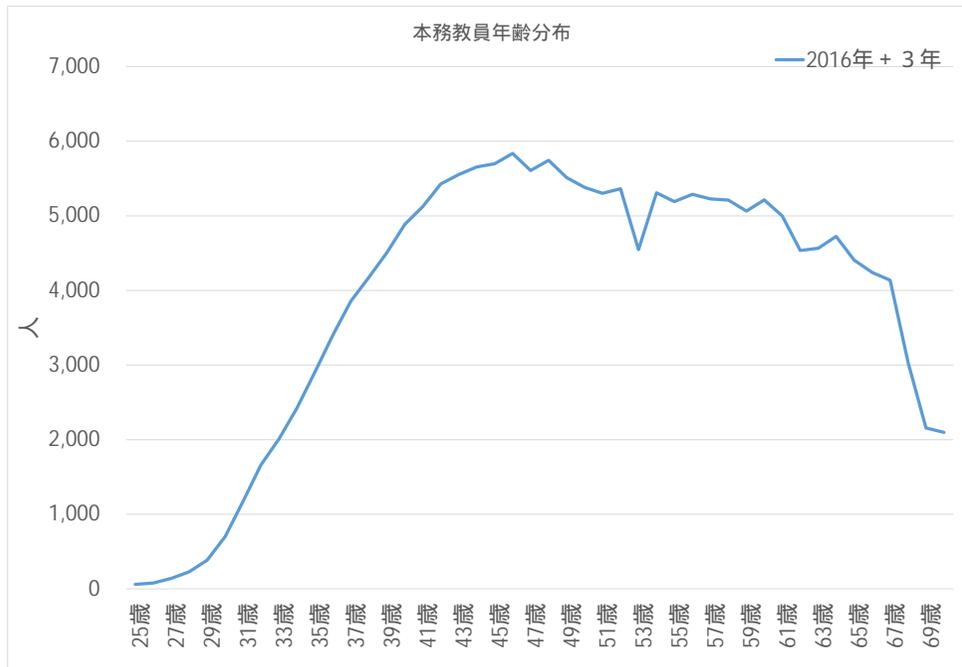
2013年から2016年の各年齢ごとの本務教員の増減傾向がそのまま継続すると仮定し、2019年以降の年齢構成を推計（大学本務教員推計）

以下の各年齢ごとの和により推計（2019年の例）

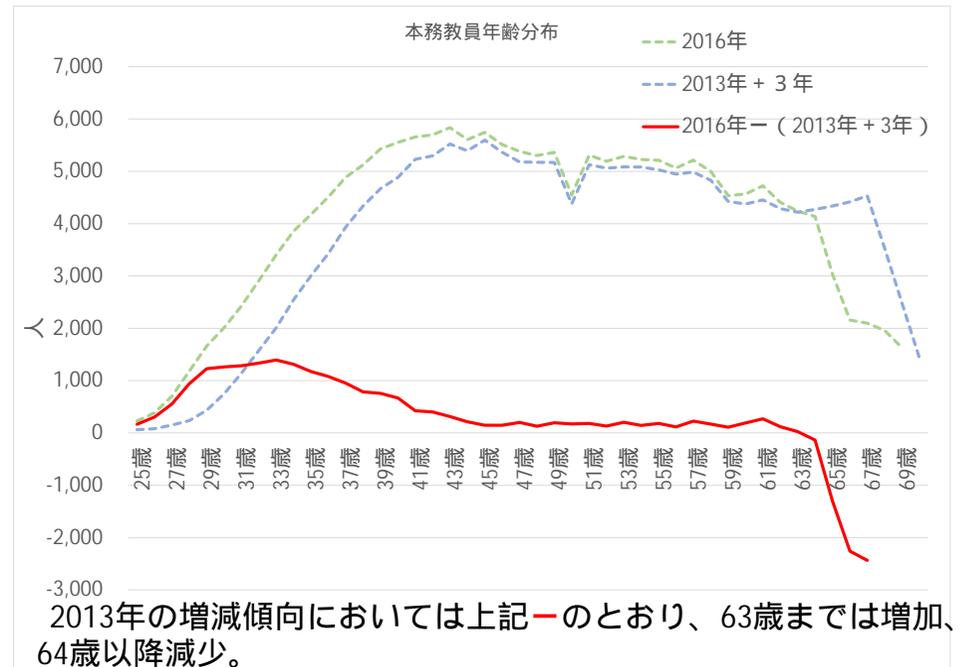
2016年から3年の年次進行分（—の線）：2016年に在籍している本務教員がそのまま3年年次進行と仮定

2016年から3年間の純増減数（—の線）：2013年から2016年かけての採用・離職が同様に継続すると仮定  
 （3年間での各年齢での純増減数：2016年の教員数と、2013年の年次進行分との差）

2016年から3年の年次進行分

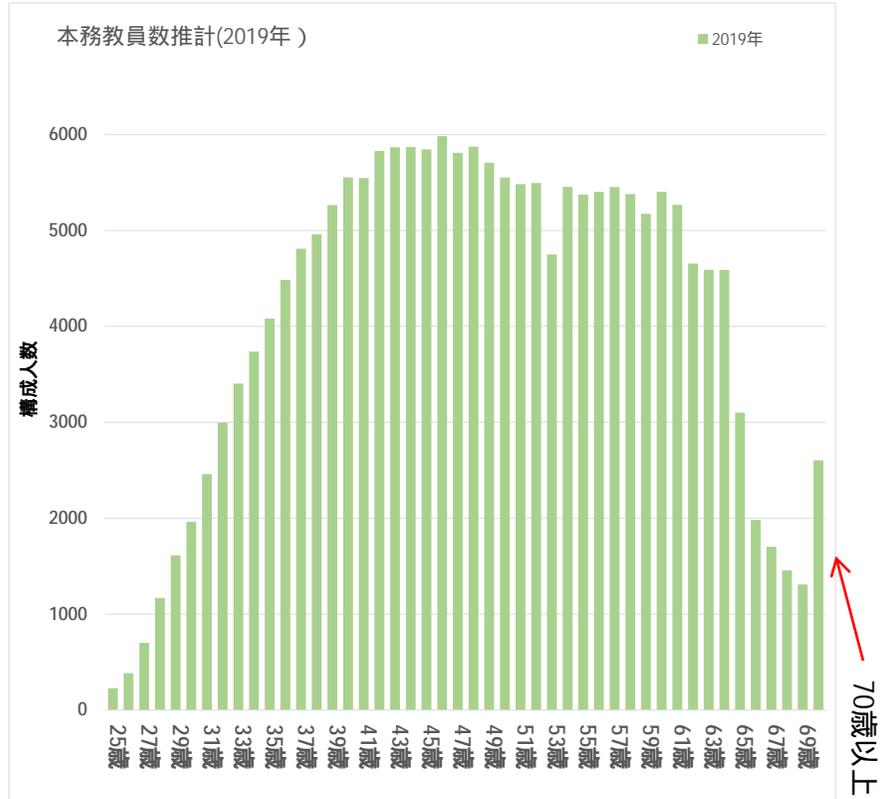


2013年から2016年にかけての採用・離職が同様に継続すると仮定した純増減数



大学本務教員推計： これまでの増減傾向が続くと仮定した場合の推計  
 2019年分は、2016年調査結果に基づき、以降3年ごとに推計値を導出

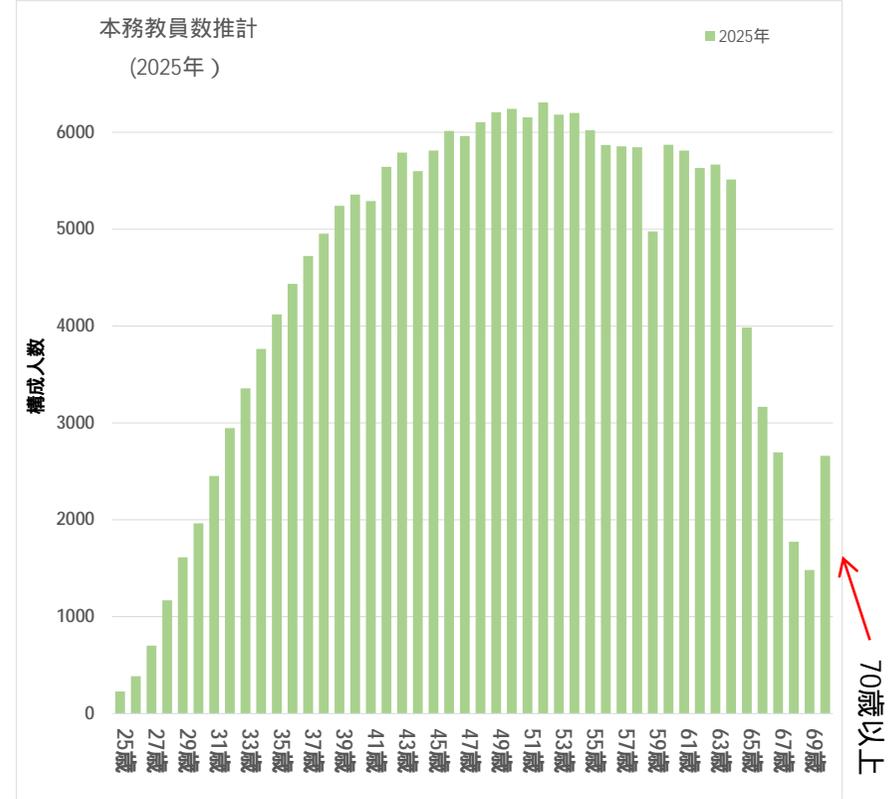
2019年（推計）



39歳以下人数	42,533
40歳～49歳	57,882
50歳～59歳	53,515
60歳以上	36,657
合計	190,587

39歳以下割合	22.3%
40歳～49歳	30.4%
50歳～59歳	28.1%
60歳以上	19.2%

2025年（推計）



39歳以下人数	42,333
40歳～49歳	57,781
50歳～59歳	59,655
60歳以上	44,260
合計	204,029

39歳以下割合	20.7%
40歳～49歳	28.3%
50歳～59歳	29.2%
60歳以上	21.7%

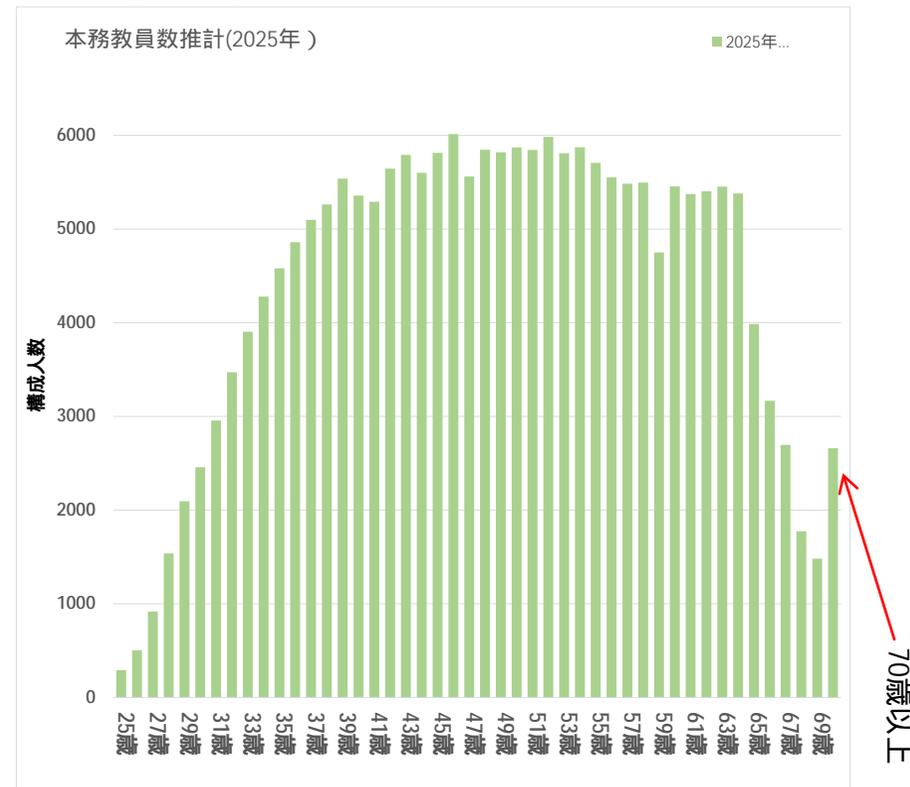
2019年の大学本務教員推計を基に、40歳未満教員の1割増（ ）を実現する目標（案）の試算

- ・シニア教員数の自然減少分を、40歳未満の教員採用に、より優先的に再配分
  - ・2019年時点の教員が（63歳までは）年次進行する際に減少することは試算上は想定していない
- （ ）「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」における若手研究者のポスト拡大の達成目標数を踏まえ、5,500人増と仮定して試算

2025年（推計）再掲



2025年（試算）40歳未満本務教員の1割増を実現する場合

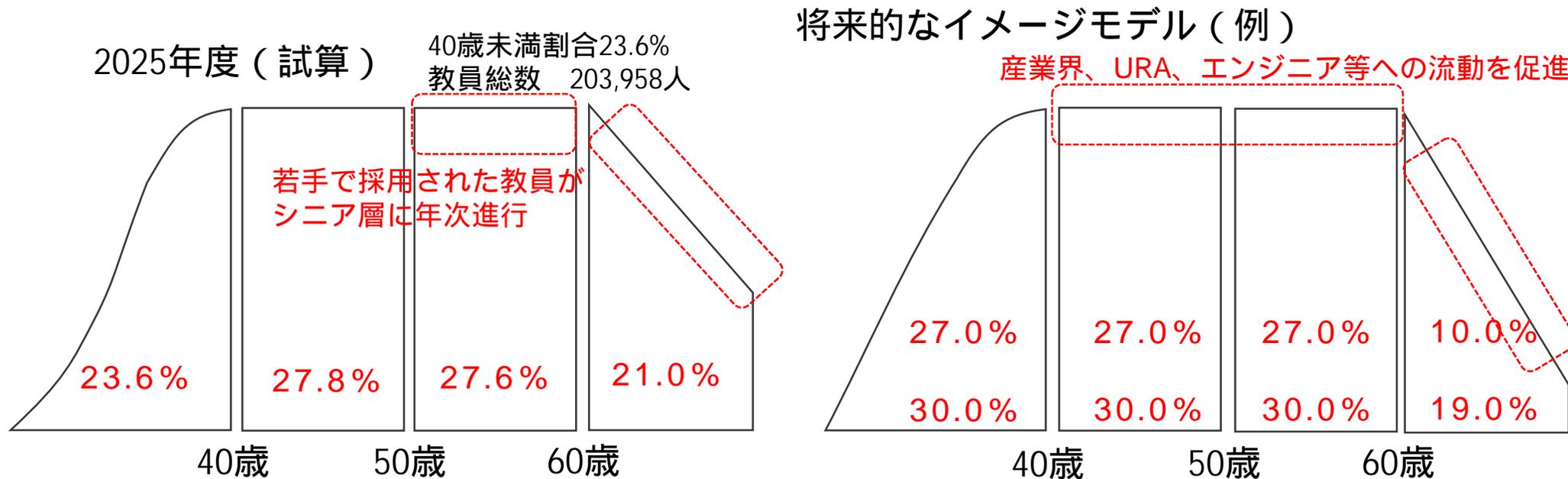
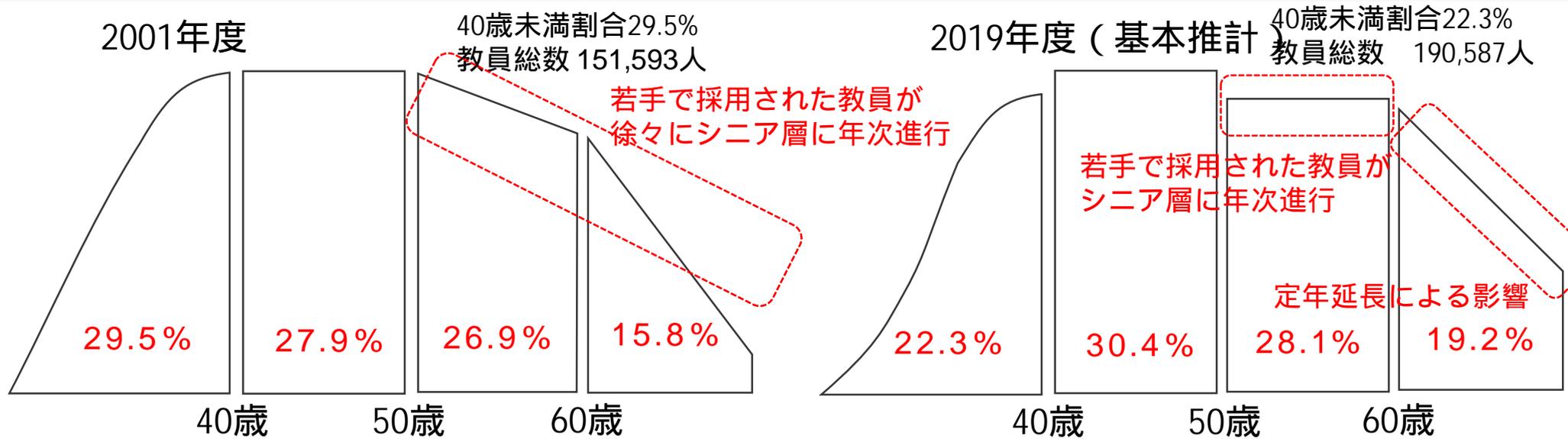


39歳以下人数	42,333
40歳～49歳	57,781
50歳～59歳	59,655
60歳以上	44,260
合計	204,029

39歳以下割合	20.7%
40歳～49歳	28.3%
50歳～59歳	29.2%
60歳以上	21.7%

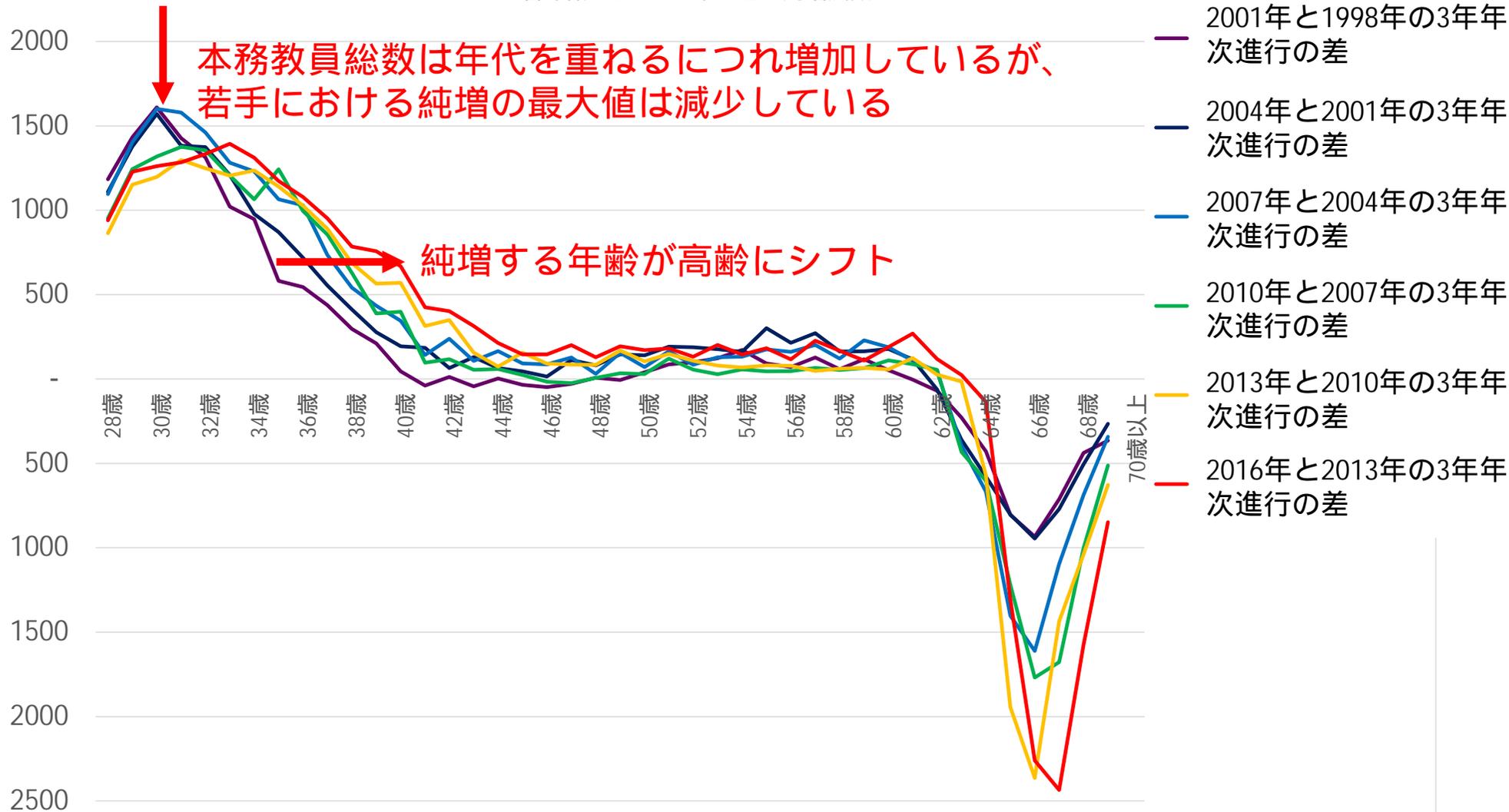
39歳以下人数	48,034
40歳～49歳	56,733
50歳～59歳	56,364
60歳以上	42,828
合計	203,959

39歳以下割合	23.6%
40歳～49歳	27.8%
50歳～59歳	27.6%
60歳以上	21.0%



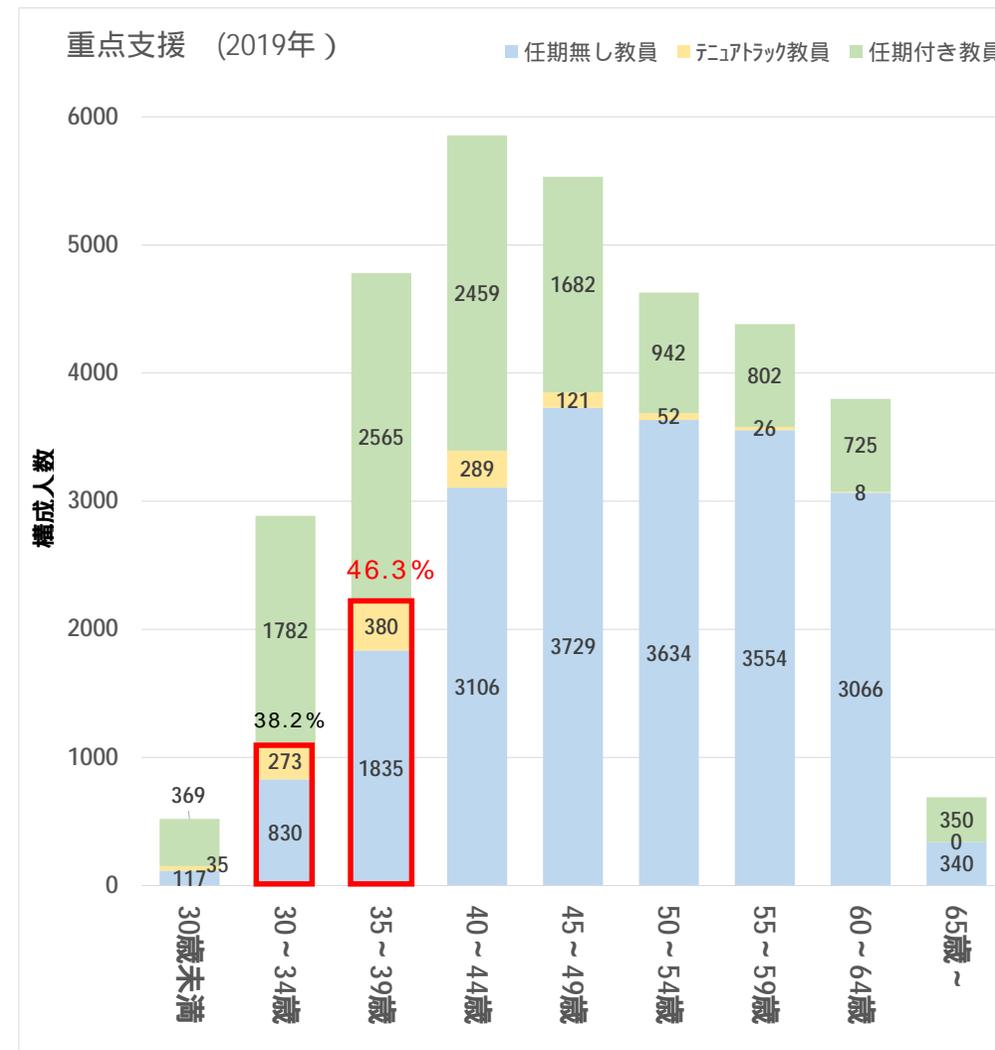
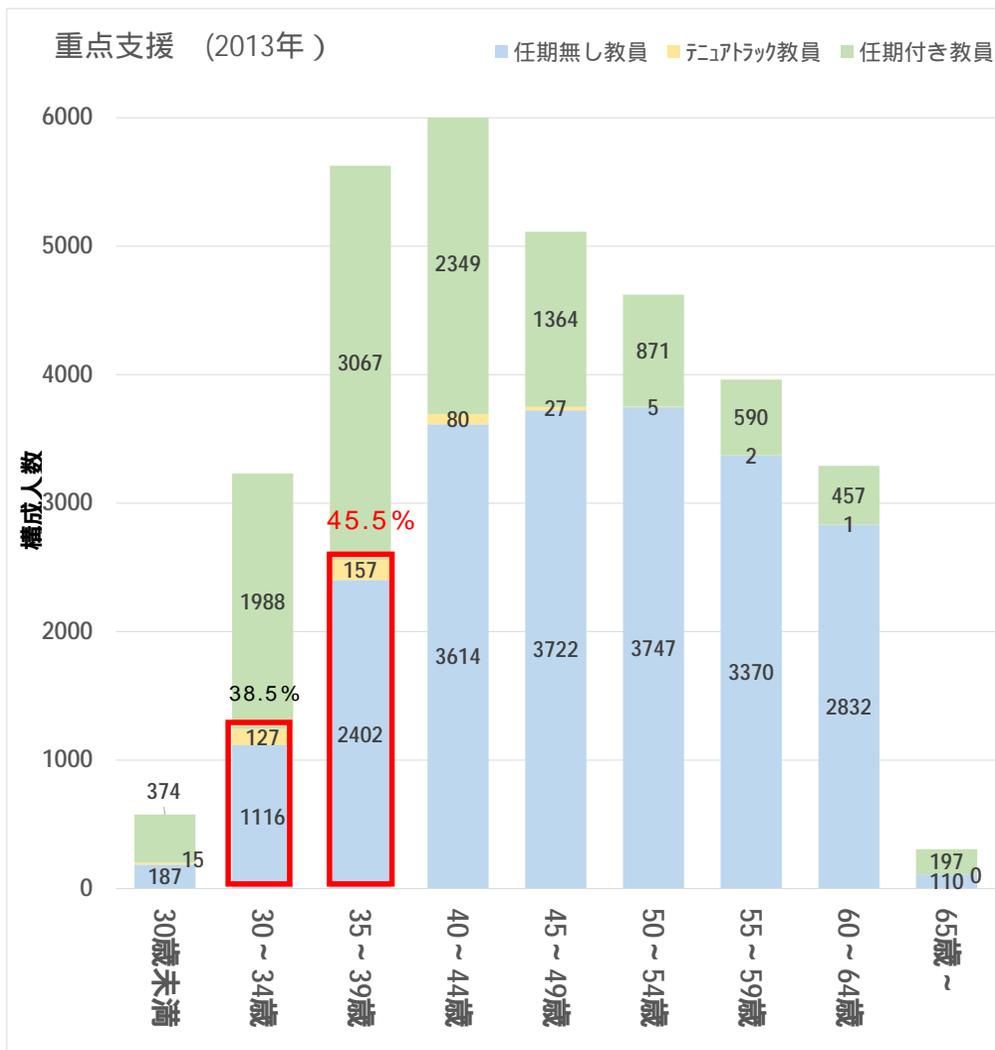
ある年の本務教員数を3年年次進行させたものと、3年後の実際の調査結果の差により各年齢ごとの増減数（3年間）を算出

各年齢における3年ごとの純増減数



### 2013年（調査結果）

### 2019年（調査結果）

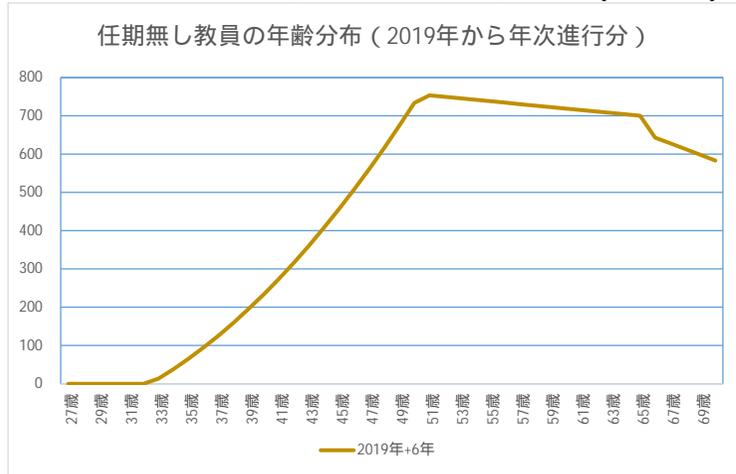


「研究大学における教員の雇用状況に関する調査」（文科省）の調査結果を内閣府にて集計、作図  
文科省にて詳細な分析に向けて調査内容の精査中であり、本内容は速報（暫定）値

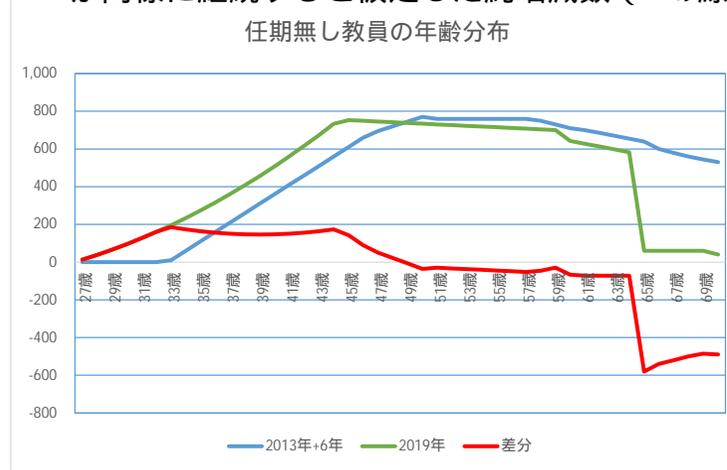
テニョアトラック教員： 優秀な教員・研究者が、一定の期間任期付きという競争的環境を経て、公正で透明性の高い審査に合格することで、任期のない安定的な職（テニョア）を得ることができるようにする制度の下に採用され、トラック期間にある教員

**任期無し教員** 以下の各年齢ごとの和により推計

2019年から6年の年次進行分（—の線）



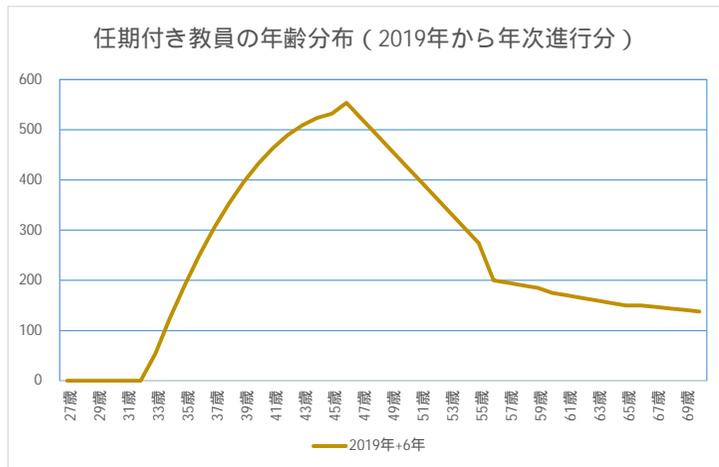
2013年から2019年かけての採用・離職が同様に継続すると仮定した純増減数（—の線）



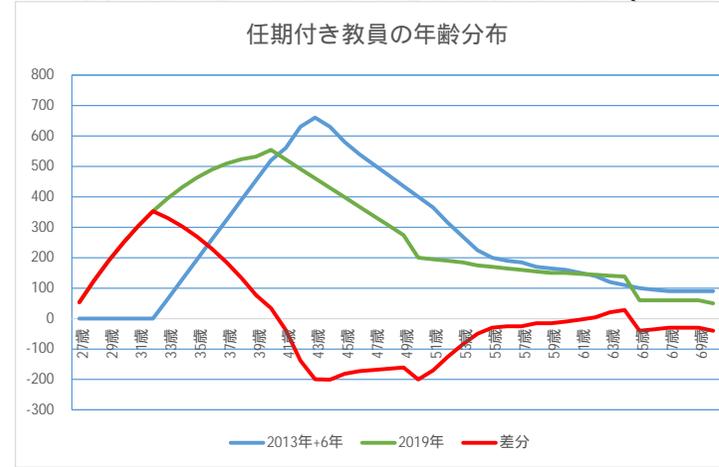
2019年時点でのテニュアトラック教員が、9割任期無し教員になっていると仮定

**任期付き教員** 以下の各年齢ごとの和により推計

2019年から6年の年次進行分（—の線）



2013年から2019年かけての採用・離職が同様に継続すると仮定した純増減数（—の線）



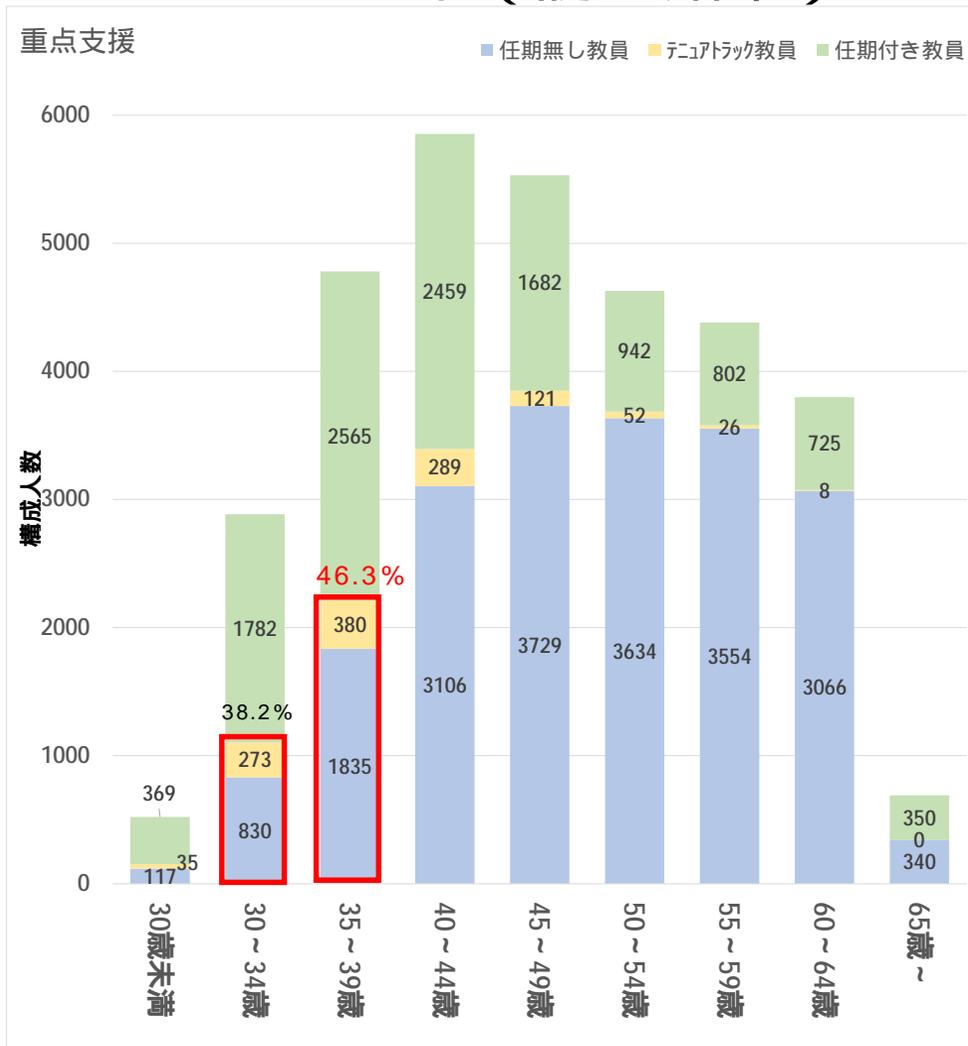
1歳毎の年齢分布は「研究大学における教員の雇用状況に関する調査」（文科省）の調査結果より内閣府にて作成

**テニュアトラック教員**

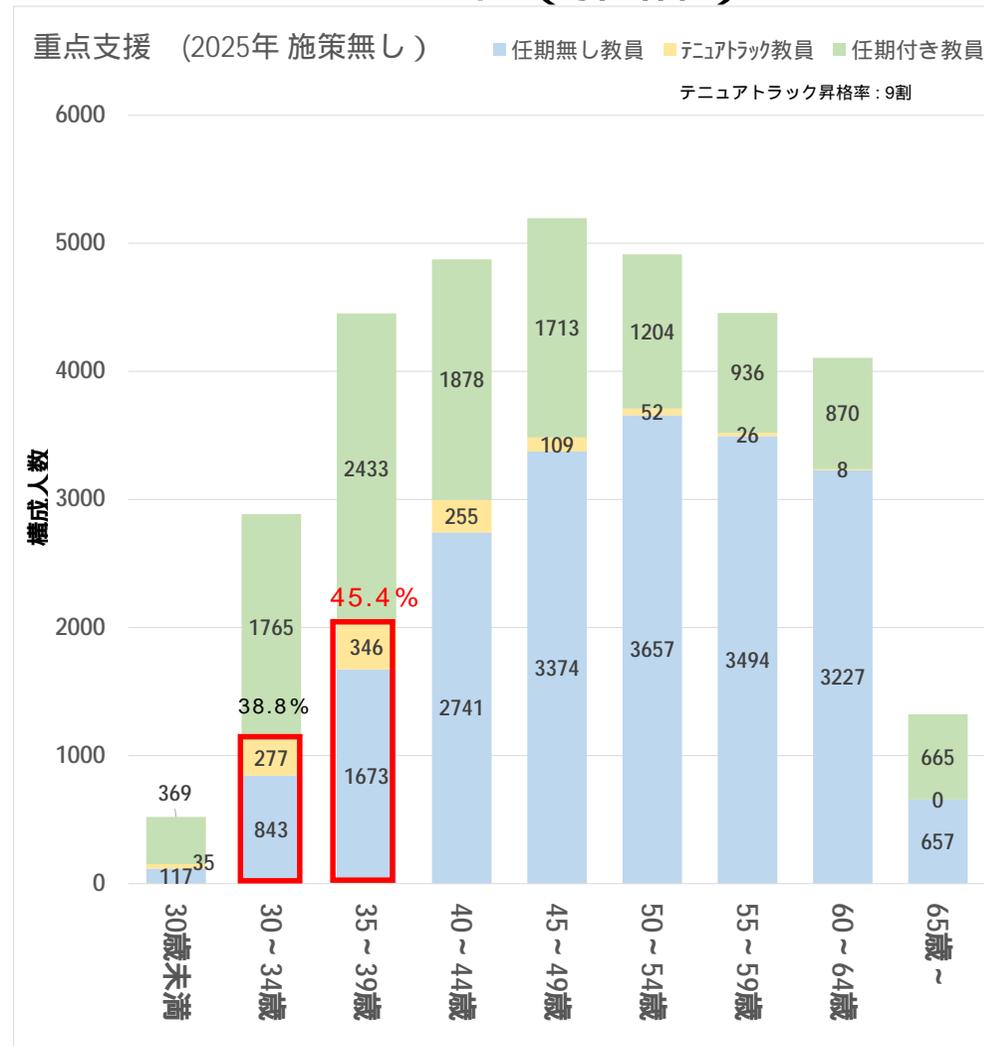
任期無し教員に対する割合が2019年と同様と仮定

2019年の研究大学（重点支援 国立大学）年齢分布（ ）に基づき、年次進行に加え、2013年からの採用、離職傾向が継続するものとして2025年の年齢構成を推計（研究大学本務教員推計）

## 2019年（調査結果）



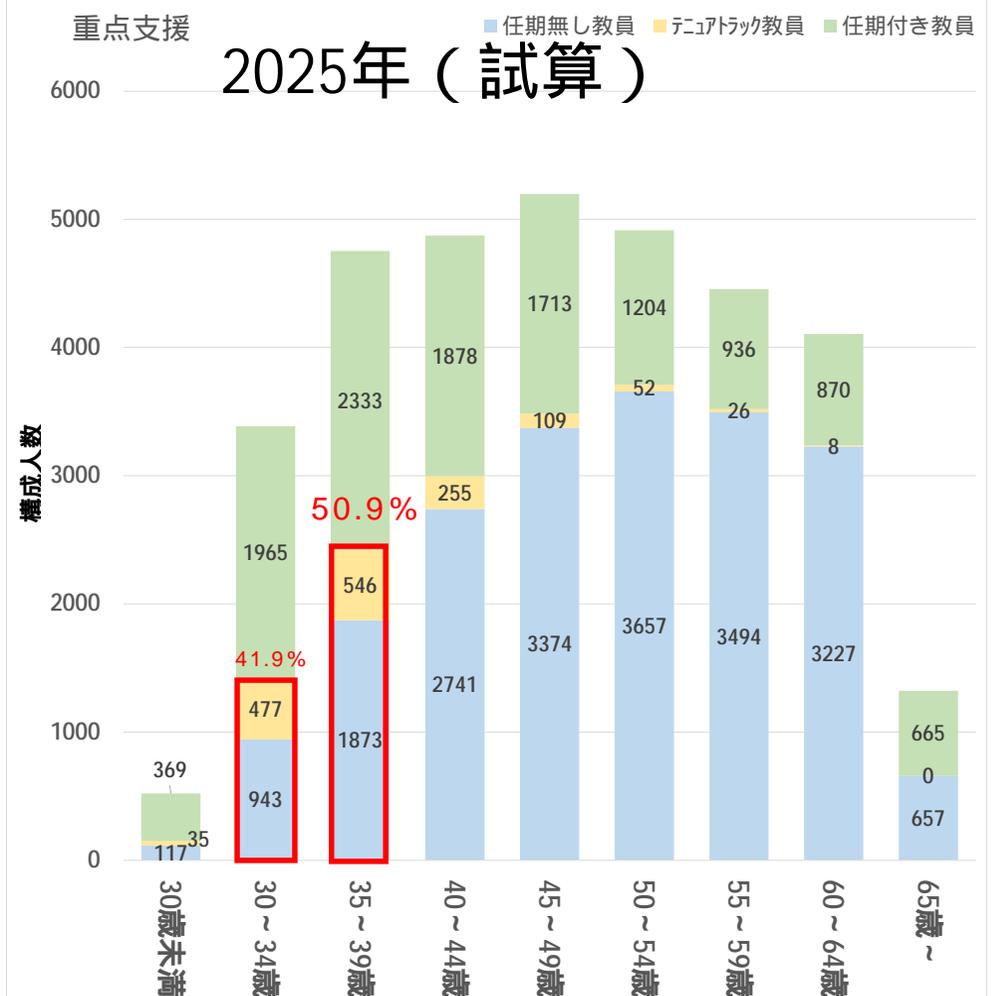
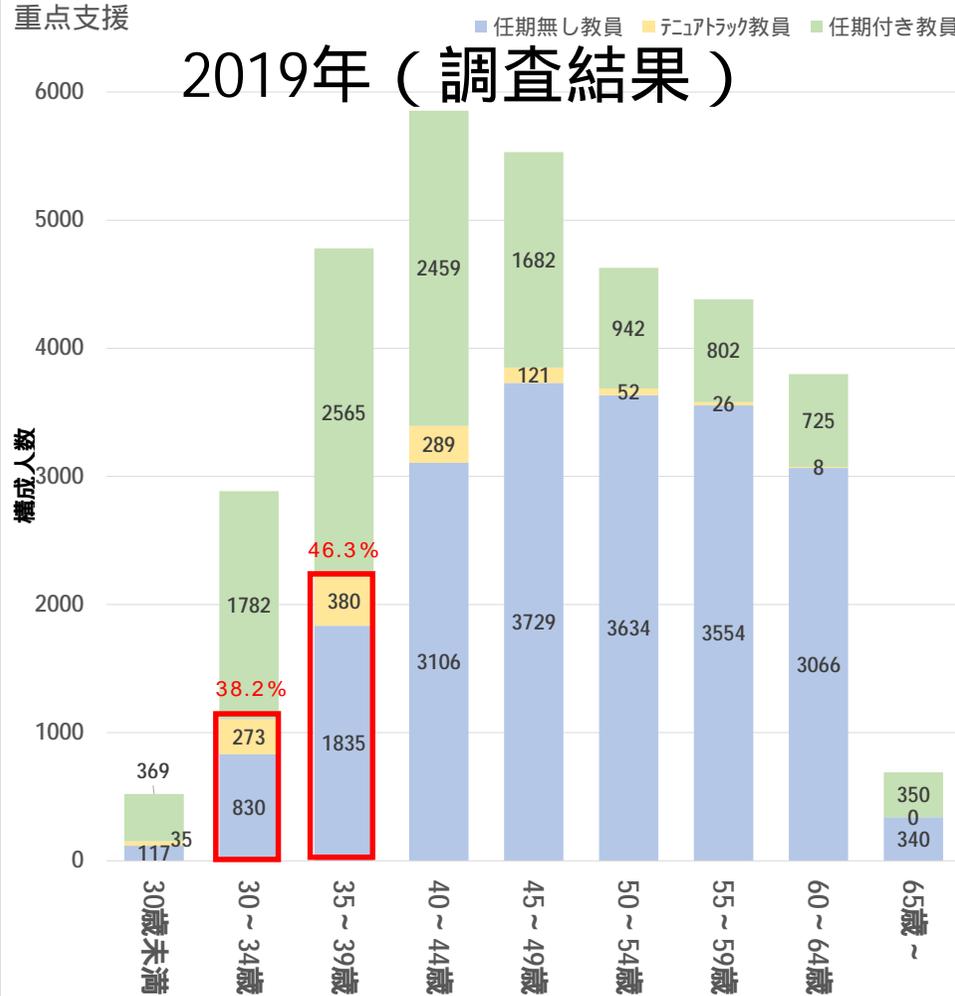
## 2025年（推計）



（ ）文部科学省にて詳細な分析に向けて調査内容の精査中であり、2019年のデータは速報(暫定)値

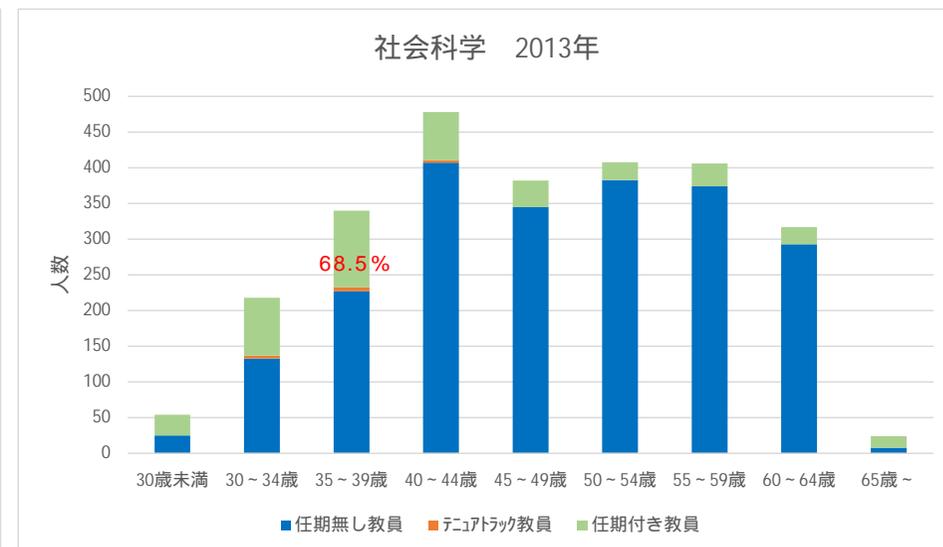
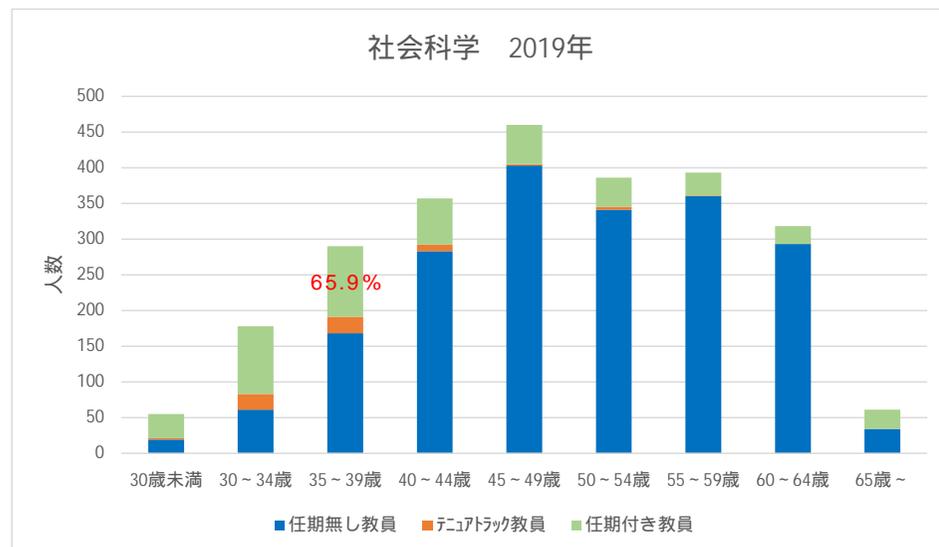
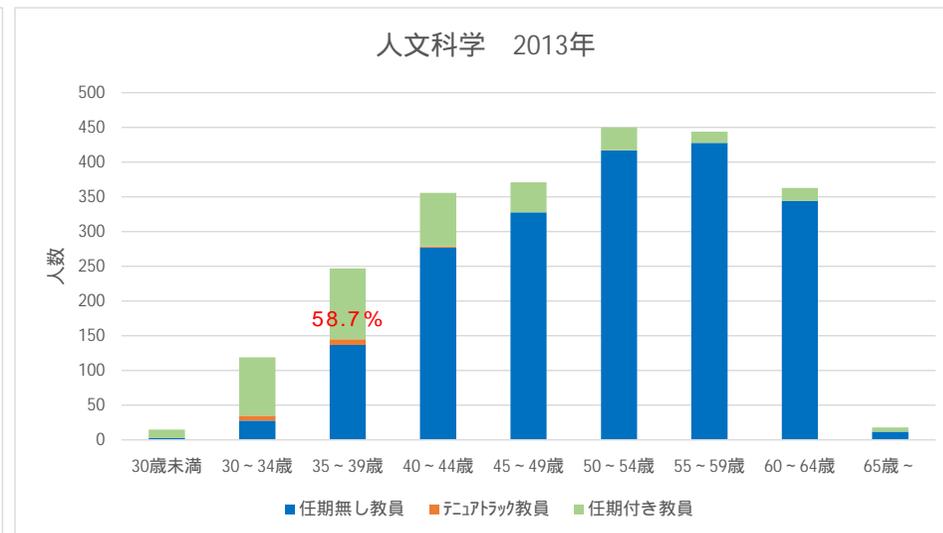
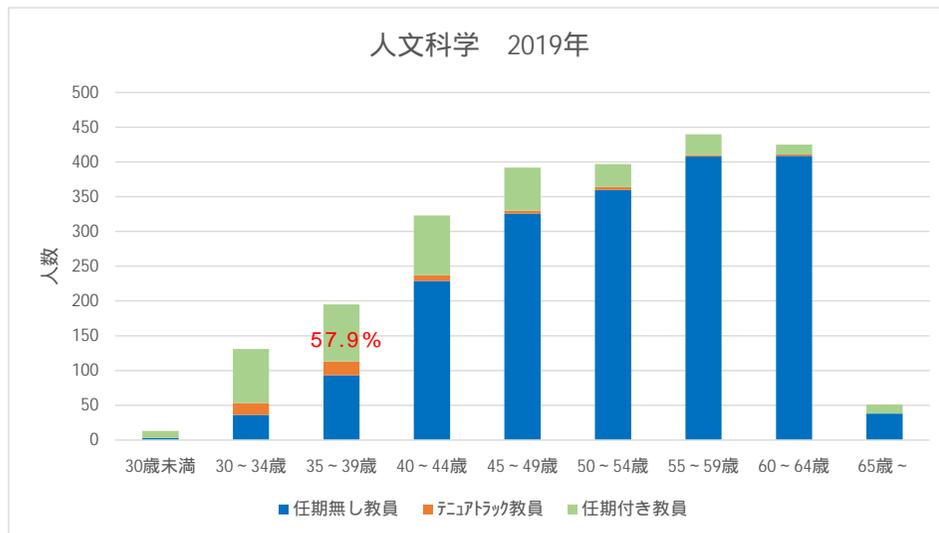
【案】「35～39歳の大学本務教員数に占めるテニユア教員及びテニユア・トラック教員の割合について、2019年における割合の1割増以上（ $\square$ ）となることを目指す（精査中）」

各大学や分野ごとに研究者の置かれた状況や当該割合がそれぞれ異なっていることに留意が必要であり、各大学において、それぞれの状況を踏まえ目標の達成を目指していくことが重要である。特に、保健分野は医・歯学系の大学院において医療職の社会人院生などが在学しており、修了年齢が高くなる傾向がある。また、附属病院等に所属する医師や歯科医師などの医療職の教員が含まれており、当該教員は診療業務や病院運営等において、大学部局と院内の異動や連携する病院・診療所等へ派遣されるなど流動性が高い。これらのために「任期付き」で運用されているケースが多い点等を考慮する必要がある。（個々の年代、教員区分の試算の数値はあくまでも試算上の一例であることに注意）



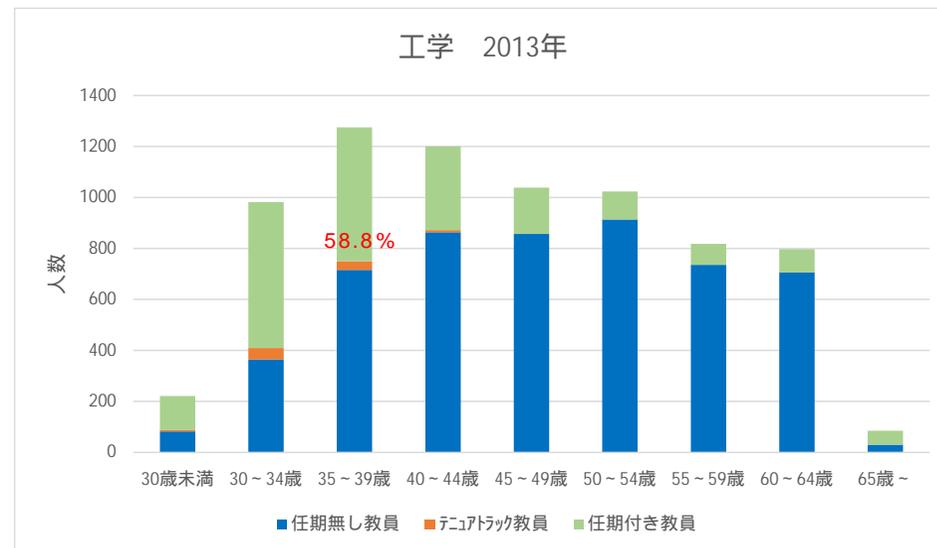
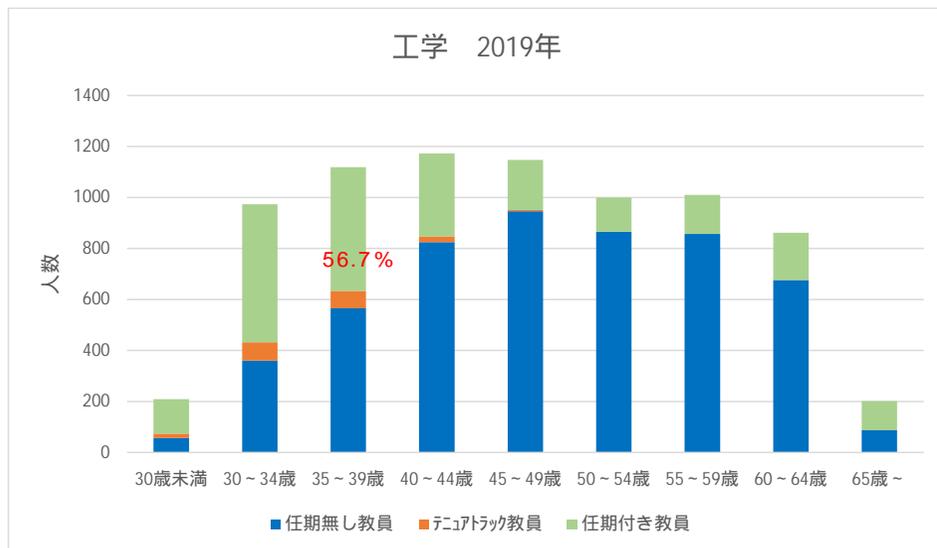
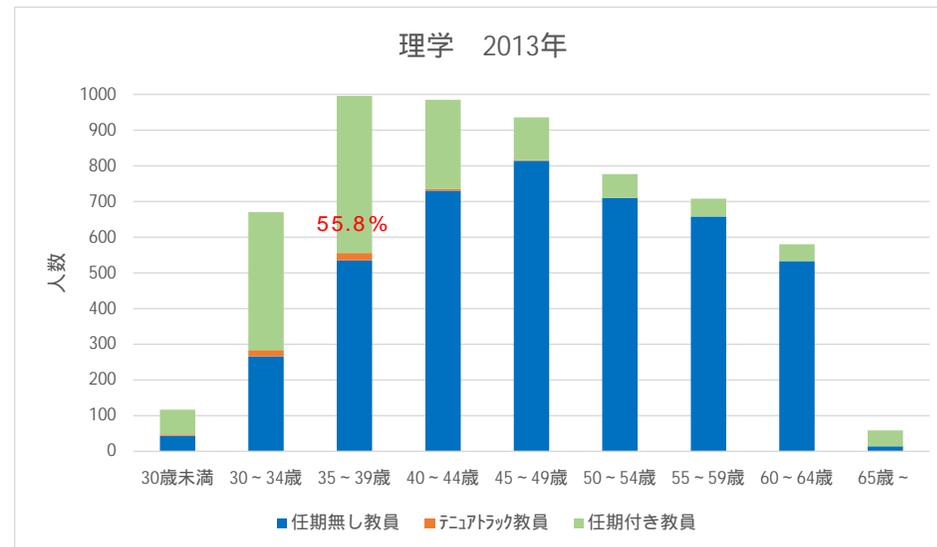
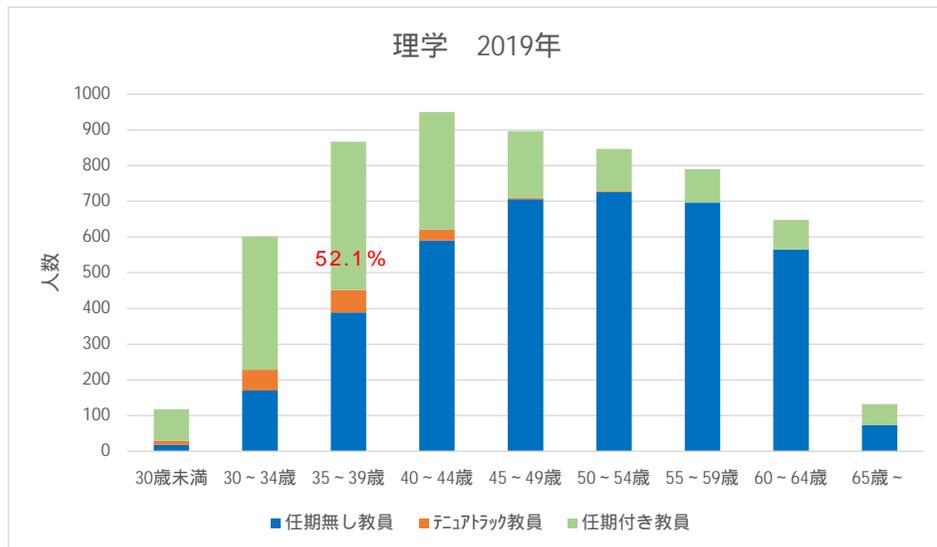
（ ） 文部科学省にて詳細な分析に向けて調査内容の精査中であり、2019年のデータは速報(暫定)値

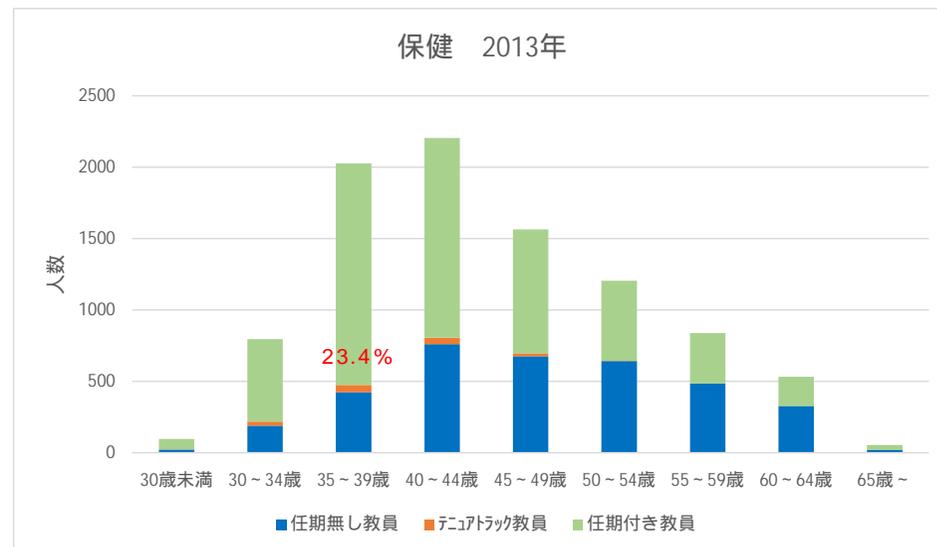
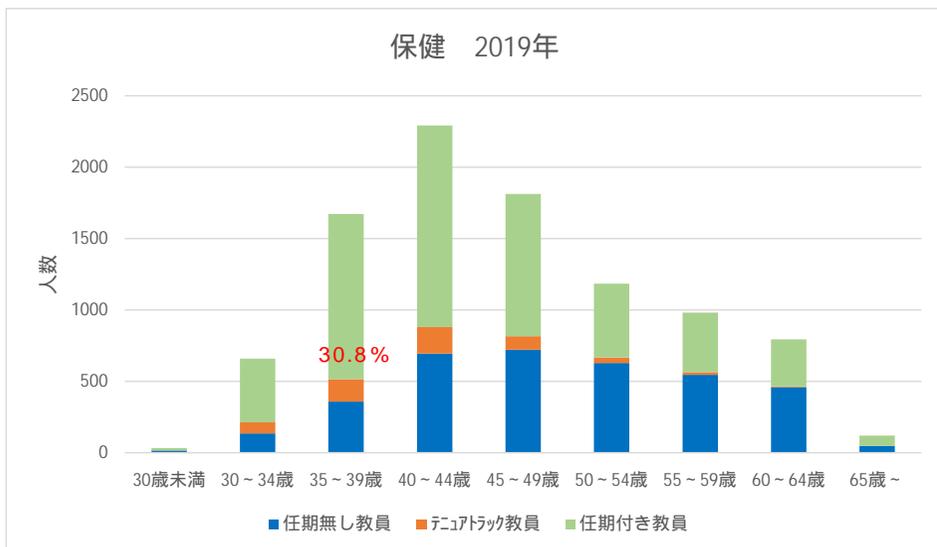
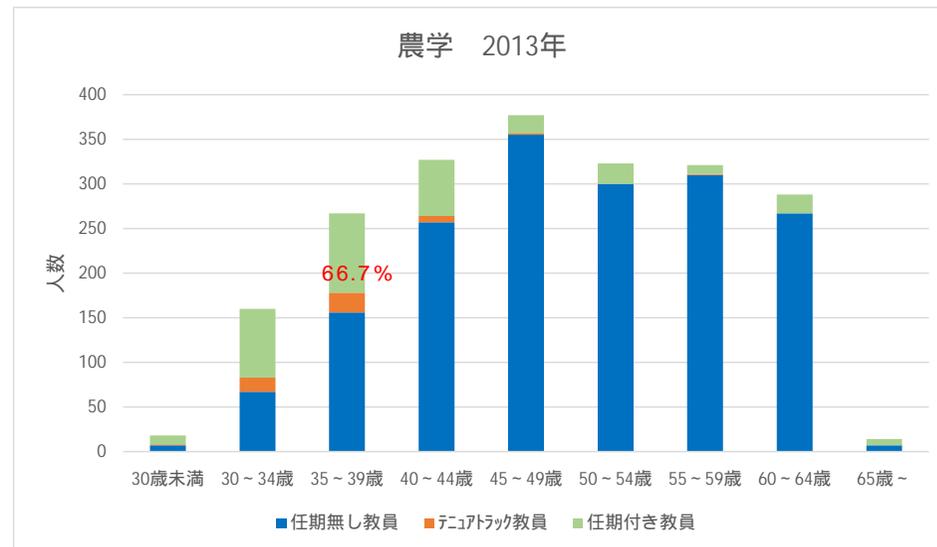
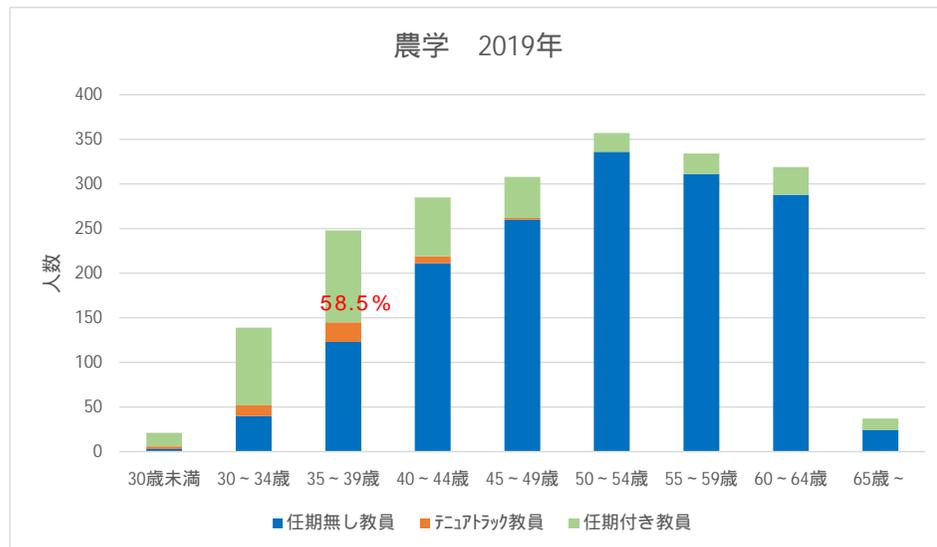
## 2. 研究大学本務教員 (参考) 研究大学 (重点支援 国立大学) における教員の雇用状況 (分野別)



「研究大学における教員の雇用状況に関する調査」(文科省)のデータをもとに分野別に作図  
 図中の割合(%)は、35~39歳において大学本務教員数に占めるテニョア教員及びテニョア・トラック教員の割合

( ) 文部科学省にて詳細な分析に向けて調査内容の精査中であり、本データは速報(暫定)値





## 2. 研究大学本務教員 (参考) 研究大学 (重点支援 国立大学) における教員の雇用状況 (分野別)

